



# 稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年（1963年）12月6日 会長：小島洋一／副会長：眞下啓二  
 例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：高桑宏幸／編集：広報会報委員会  
 例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail [rcinazawa@gmail.com](mailto:rcinazawa@gmail.com)  
 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>  
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1（林商事ビル1階）  
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-89-0265 事務局携帯電話 090-4853-5262



インスピレーションになる

2018-19 R I 会長  
ハリ・ラシ 氏

稲沢 RC2018-19 年度会長方針  
「ともに前へ」  
ローラーを考え、楽しく実践しよう

## 本日の例会プログラム 第2684回例会 2月20日（水）

例会場：稲沢商工会議所 卓話：ホームページについて  
 スピーカー：E.M.S オフィス ライック合同会社 代表社員 田中 政孝  
 担当：広報会報委員会

## 第2683回例会報告 2月16日（土）晴れ No.29

☆点 鐘 ☆	西尾張分区がバナー補佐 和田典之
☆司 会 ☆	名古屋清須RC 児玉亨
☆唱 和 ☆	君が代 奉仕の理想 手に手つないで
☆ビジター☆	
がバナー補佐挨拶	西尾張分区がバナー補佐 和田典之



今年度は村井がバナーの行動指針の一つである「分区内交流活動」にご協力いただきありがとうございます。  
 入会3年未満の皆様は、他クラブの例会に参加され、自クラブでは得られない多くの情報を得られたと思います。

さて、今回のIMのテーマである「多様性を受け入れる」とは多くの情報を得て、それを理解することでありませう。「奉仕とは足りないものを足してあげること」であるとすると、何が足らなくて、どうすれば足してあげられるかを導き出すためには想像力が必要になります。そして、その想像力は意外にも才能ではなく、情報量であると言われています。

このように考えていくと「奉仕の本質を見つける」ためには的確な情報が不可欠であるということが分かり、今の時代に合った新しい奉仕のあり方を見つけるためには、あなた自身がインスピレーションになって創造力を得るための情報を、あなた自身の行動によって集め、理解していくことが必要ではないでしょうか。

## ◇◇2018-49年度 国際ローター-第2760地区西尾張分区 インターシティミーティング◇◇



## ★出席報告★報告者：会員組織委員長 服部孝徳

会員総数	48名	前々回修正	1月30日
出席	28名	出席	38名
会員数	(内免除5名)	会員数	(内免除者10名)
欠席者数	20名	メイクアップ数	3名
	(内免7名)		
出席率	68.29%	修正出席率	87.23%

## ☆分区内例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日（曜日）時間	メイクアップ会場
一宮	4/11(木)12：00～12：30	一宮商工会議所
尾西	4/15(月)11：30～12：30	尾西信用金庫本店
津島	4/19(金)	休会（定款8-1）
あま	4/22(月)11：30～12：30	名鉄グランドホテル

今週のメイクアップ 浅井耕治（名古屋丸の内） 足立三千夫（IAC） 眞下啓二（B.D）

## ☆例会日程☆

2月27日 18：30	3月6日（水）12：30	3月13日（水）12：30	3月20日（水）12：30
夜間例会 かちやぐり屋 名古屋市西区2-23-14	幸福例会 会員表彰 なおい祈祷（例会前） 第9回理事会 IAC例会（17：00）	卓話： 担当：会場委員会 IAC例会（17：00）	IAC 合同例会及び合同清掃作業（例会後、国府宮駅周辺）



## 代表者発表 稲沢RC 大宮隆志 会員

約半年前、平成 30 年 8 月 17 日、津島ロータークラブの例会に区内交流として、参加して参りました。

伊藤哲朗会長を初め、津島ロータークラブの皆様にとっても温かく迎え入れていただきました。

津島ロータークラブは、稲沢ロータークラブよりも創立が古く、例会の回数も 3000 回を超えていました。例会の大まかな流れは同じですが、例会開会前にストレッチ体操をさせていただいたことが印象に残っています。この例会では、いわゆる AED を実際に使用する催しがあり、私も体験させていただきました。実際に体験してみて初めて、AED の有意義性を大いに実感することができました。

また、津島ロータークラブには、地区出向の関係などから、稲沢ロータークラブの会員と、友人や知り合いであるといった方も非常に多く、「何々さんによろしく」と多くの方からお声がけをいただきました。

このように、区内交流を通じて、

- ① ロータークラブ毎のカラーが異なり、それぞれが素晴らしい個性を発揮していらっしゃる事
- ② 会員同士の交流も深く、同じローターというだけで懇意にいただける事

など多くのことを学ばせていただいた有意義な一日となりました。

ところで、私は、現在 43 歳です。

どのロータークラブに行っても、最年少に近い年齢です。

私がローターに入る前は、

「40 歳超えて体力が衰えたなあ」

「40 歳超えてこれ以上伸びていかないかなあ」

などといったことを考えていましたが、

ローターに入ってから、その考えは一変しました。

先輩会員の方々が、とても元気に色々頑張っている姿を拝見するにつけ、また、先輩会員の方々から、とても深い人生の知恵を教えるにつけ、

「私も、まだまだこれから成長していかないかん」

「まだまだ元気に色々頑張っていないかん」

と思えるようになりました。

私は、ローターでの皆様からの教えるを通じて、今回の IM のテーマにもありますが、相手に言われたことを素直に受け入れて、本音・本質の部分で自分を変えようと思ひ、実行に移していくことが、人としての成長に繋がる、ということを知りました。また、経営者・リーダーとして社会に奉仕するには、世の中の出来事について自分なりの答えを探し考え続けることが大事である、ということも教えていただきました。

今では、ローターに在籍し続けることで、私の人生が精神的に豊かになっていく、そのことを確信しています。

そして、この空間を一人でも多くの方と共有できるよう、ローターの魅力を様々な場所で発信し続けていきたいです。



観世流能楽師 久田勘鷗



デア・シュトラウス